

気象変動に負けない稲づくりは**健苗育成**から！ 適温管理で「**ばか苗病**」「**軟弱徒長苗**」を防止！

1 今後の天候予報

4月8日発表、向こう1か月の季節予報によると、北日本の日本海側は気温が「高い」、降水量が「平年並」、日照時間が「多い」と見込まれています。

2 健苗育成のための管理

① マルチ取り外し遅れによるトラブル回避

出芽までのマルチ内の最適温度は「30～32℃」です。マルチ内が高温になり過ぎないように、適切な温度で管理しましょう。また、例年マルチの掛け過ぎで、苗焼け、軟弱徒長苗などのトラブルが発生しています。健苗育成のため、出芽が揃ったら迷わず直ちにマルチを取り外しましょう。

※「**ばか苗病**」は**高温管理で発病が多くなります。**マルチ被覆期間をできるだけ短くすることで発生リスクを軽減することができます。

② マルチ取り外し後の管理

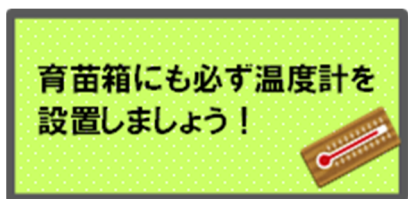
地温・気温が上がる前の朝方に、十分に灌水しましょう。夕方に灌水すると、せっかく温まった地温を下げることで根張りが悪くなり、苗床の過湿や軟弱徒長苗の原因となります。また、保温資材を準備しておき、低温が予想される時は保温資材を活用して、苗を低温から守りましょう。

表1 理想的な稚苗の姿

草丈	11～12cm
第一葉鞘高	3.5cm
葉齢	2.2～2.5枚
葉色	濃い
根の伸長	根張りが良く、十分に絡んでいる
地上部の姿	茎が太く硬く、ずんぐりしている

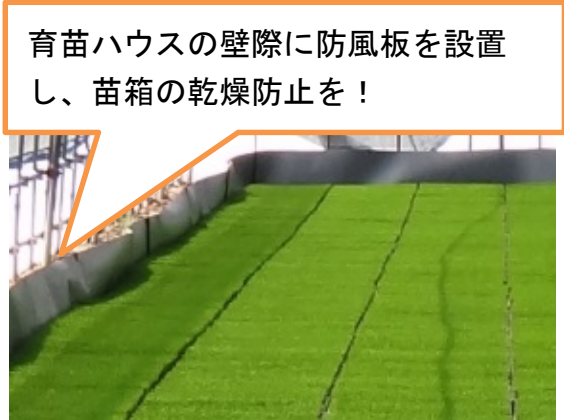
表2 マルチ取り外し後の温度管理の目安

生育ステージ	最適気温	最高気温	最低気温
緑化期(～1.0葉期)	20～25℃	30℃	10℃
硬化期(1.5葉期～)	15～20℃	25℃	5℃
移植1週間前～	昼夜ともハウスを開け、苗を外気に慣らす		



③ その他の注意事項

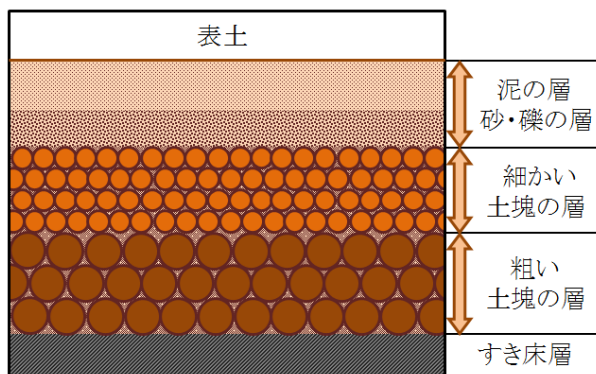
- ・プール育苗では、1.5葉期に床土が隠れる程度に水を入れます。(床土が露出していると、好気性のカビによる苗立枯病が発生する恐れがあります。)
- ・苗立枯病、苗立枯細菌病は、主に高温、過湿で発生しやすくなるため、適切な温度、湿度で管理しましょう。病害の発生が確認されたら、直ちに薬剤散布等の対応を実施しましょう。
- ・追肥は稚苗育苗では1.8葉期にN成分で1箱あたり1g施用します。
- ・被覆資材、遮光資材は特性(保温性、遮光性等)をよく確認してから使用しましょう。



3 耕起・代かき

- ① 地力の高い圃場ほど早めに耕起しましょう。乾土効果の発現により初期生育を促進し、食味に悪影響を及ぼす生育後半の地力窒素発現を抑えましょう。
- ② 耕深が浅い現状です。耕深は最低でも「15cm」を確保しましょう。
- ③ 代かきは土塊を残すように行いましょう
 ※代かきを何度も、また深く行くと、土塊が砕けて団粒構造や孔隙が失われます。田ワキが発生しやすくなり、活着の遅れや初期生育不良の原因となります。

図1 理想的な代かき後の土壌



4 田植え

- ① 健苗を移植しましょう。軟弱徒長苗は植え傷みが起こりやすく、また、深植えになりやすいことから活着や分けつの発生が遅れます。
- ② 植付け深は「3cm」程度とし、分けつ発生を促進しましょう。
- ③ 移植適期は5月10～15日頃(気温が15℃、水温が12～13℃を超えて安定化する)です。極端な早植えや遅植えは、初期生育確保が困難になりやすいので避けましょう。
- ④ 田植は好天の日を選んで行いましょう。



5 農薬の適正使用

水稻育苗を行った後に野菜等を栽培する予定の育苗ハウスでは、箱施用剤は施用しないでください。置き床に残った農薬成分が後作の野菜等に吸収され、農薬の適用外使用となってしまうことがあります。こうした場合の箱施用剤施用は、移植直前に圃場で実施してください。

6 直播栽培 <詳しくは4/16発行の酒田・飽海水稻直播情報(苗立ち確保対策号)をぜひ参照下さい>

- ① 乾田V溝直播は、圃場の乾燥が進まないうちに播種すると、溝にうまく播種されず出芽率が低下したり、鳥害を受けやすくなります。必ず圃場の乾燥状態を確認してから播種しましょう。十分に排水対策を行い、4月末までの播種完了に努めましょう。
- ② 湛水直播における播種適期は、4月25日頃～5月5日頃です。地域内で水利を調整するなどして、適期内の播種に努めましょう。また苗立本数は㎡当たり80～100本を目標に、播種様式に応じた適正播種量としましょう。初めて湛水直播(点播)に取り組む場合、播種量は5kg/10aを目安とします。
- ③ 鉄コーティング湛水直播は、表面播種となるように田面の硬さを確認しましょう。

表3 湛水直播の播種様式別の播種量の目安

播種様式	散播	条播	点播
播種量(乾籾)の目安(kg/10a)	3.0～4.0	3.5～4.5	4.0～4.5



春季農作業事故防止運動強化期間！ 4/10～6/10

焦らず作業を進め、事故の無いように注意しましょう。